

イカす会



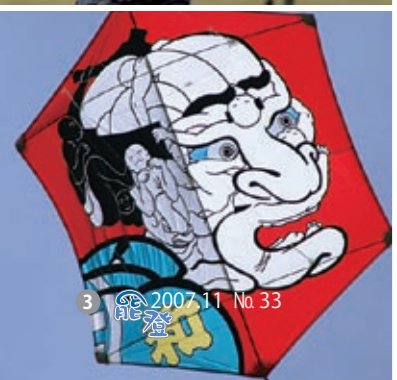
猿鬼
歩こう走ろう
健康大会
9/23 回



イカす会
10/7 回



全国凧あげ
能登大会
10/14 回



2007 Autumn

能登 CONTENTS

目次 平成 19 年 11 月号

イベントの秋 9月下旬から10月にかけて、町内で行われたイベント3つをフォトレポート	3
はじめよう、下水道のある暮らし③	8
人の間に Vol.17 全国和牛能力共進会に出場	10
オーストラリアでみつけた僕らの可能性	12
公民館通信 第5号 ~柳田公民館~	14
3・25を忘れない ~防災総合訓練~	16
まちのできごと 親子ふれあいフェスタ/神和住純杯エンジョイテニス/人権擁護委員委嘱状交付式 ほか	18
くらしの掲示板 お知らせ/募集/催し/相談/能登町クイズ100選 後期高齢者医療 など	20
「能登井」意見交換会/文化&スポーツ案内・結果	24
図書館・児童館案内 遊々能登~奥能登イベント情報~	25
安心安全まちづくり/国民年金のはなし/入札結果	26
健康インフォメーション	28
有線テレビ番組案内	30
こせきのまど/寄付/人口動態	31



◀今月の表紙
9月25日に行われた白丸曳山祭りで唄われる「きやらげ」は町の無形民俗文化財に指定されています。子どもたちは地面に足を着けてはいけなく、おんぶで移動します。



6 趣向を凝らしたイカダでレース



10 和牛のオリンピックに出場した「ささふじ号」



16 地元北辰高校の生徒も参加したバケツリレー



18 子どもたちの笑顔があふれた「親子フェスタ」

猿鬼伝説
ゆかりの地を
1,500人が
走り、歩いた

第21回 猿鬼 歩こう 走ろう健康大会



黄金色に色づいた田園風景の中を、家族や友人、仲間と一緒に歩く「歩こうの部」。沿道ではコスモスやサルビアが参加者に声援を送るように咲いていた



体力に合わせて

秋の自然を満喫しながら

今年で21回目を迎えた能登町最大のスポーツイベント「猿鬼歩こう走ろう健康大会」が9月23日に行われました。会場となった柳田運動公園には県内外から約1500人が集まり、参加者は自分の体力に合わせたコースを走ったり、歩いたりしました。

「走る」だけでなく「歩く」を取り入れたこの大会は、誰でも気軽に参加できることが特徴で、町の豊かな自然を満喫しながら健康づくりや記録へ挑戦することができます。

走ろうの部は、3km・5km・10km・ハーフ(21km)を対象者別に17の部門に分けて行われました。小学校低学年の児童や家族連れで気軽に参加できる3kmから本格的な10km・ハーフまで、約700人が自分の体力に合わせたコースを走り抜けました。歩こうの部は、5km・10km・15kmの3コースに保育園児から86歳までが参加、当日の申込みも186人を数えました。

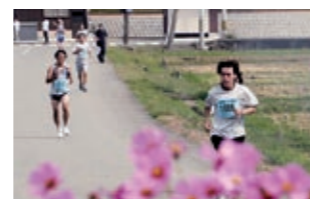
会場では柔道整復師会による無料のスポーツマッサージが用意されたほか、海洋深層水が配られました。アトラクションでは歩こうの部に参加した中国人研修生の合唱や、YAMABIKO柳星乱舞隊のよさこい演舞が披露されました。



誰でも参加できる歩こうの部では、赤ちゃんを抱っこしての参加や車いすでの参加もあった



たくさん声援を受けてゴール前のラストスパート!



県内外から多くのランナーが参加する走ろうの部には遠く北海道からの参加もあった。また、学校行事として参加した地元能登青翔高校の生徒たちの多くが、10kmや5kmの部にチャレンジしていた

第21回猿鬼歩こう走ろう健康大会結果

- ◆ハーフマラソン高校～49歳男子の部 ①中田武宏(金沢市) 1:15:21 ②小川貴士(三重県) ③北川昌秀(金沢市)
- ◆ハーフマラソン50歳以上男子の部 ①飯田和也(愛知県) 1:30:10 ②高崎正輝(かほく市) ③千代善昭(金沢市)
- ◆ハーフマラソン高校生以上女子の部 ①中田弘美(静岡県) 1:29:44 ②西野直美(富山県) ③永野美里(野々市町)
- ◆10km高校生～49歳男子の部 ①ルーク パルトラッシュ(輪島市) 0:32:41 ②白井隆之(長野県) ③蒲池淳二(輪島市)
- ◆10km50歳以上男子の部 ①松山和能(津幡町) 0:38:35 ②久利須 隆(金沢市) ③三宅正一(かほく市)
- ◆10km高校生～49歳女子の部 ①佐々木英里(富山県) 0:40:31 ②高 美希子(輪島市) ③井戸田由佳(輪島市)
- ◆10km50歳以上女子の部 ①山下富志子(白山市) 0:47:49 ②駒井キミ子(羽咋市) ③大橋ひとみ(七尾市)
- ◆5km高校生～49歳男子の部 ①垣内和彦(珠洲市) 0:17:01 ②郷原康樹(輪島市) ③林 泰洋(富山県)
- ◆5km50歳以上男子の部 ①中村洋幸(能美市) 0:17:45 ②岡田雅宏(珠洲市) ③矢代菊雄(輪島市)
- ◆5km高校生～49歳女子の部 ①石田良子(柳田) 0:23:27 ②田保美穂子(珠洲市) ③池田麻衣(青翔高校)
- ◆5km50歳以上女子の部 ①網島由美子(七尾市) 0:23:07 ②山本栄子(羽咋市) ③北川ゆみ子(宝達志水町)
- ◆3km高校生以上男子の部 ①川田悦士(富山県) 0:09:54 ②才願恭祐(輪島市) ③川口 剛(中能登町)
- ◆3km高校生以上女子の部 ①国永英代(珠洲市) 0:15:59 ②曾我真希(白山市) ③老月一枝(富山県)
- ◆3km中学生男子の部 ①干場光将(七尾市) 0:09:41 ②前田将司(輪島市) ③小泉 森(富山県)
- ◆3km中学生女子の部 ①長谷川 楓(中能登町) 0:12:36 ②信田紗由里(柳田) ③森田晴香(穴水町)
- ◆3km小学生男子の部 ①山本芳裕(崎山) 0:12:04 ②田中健祐(中能登町) ③信田宇緩(柳田)
- ◆3km小学生女子の部 ①村牧瑞希(羽咋市) 0:13:02 ②垣内叶和子(珠洲市) ③西 かえで(国光)



イカダに乗って カイをこいたら イカをつまみに カンパイしよう

能登町産業フェスティバル 第20回 イカす会

イカづくしの一日

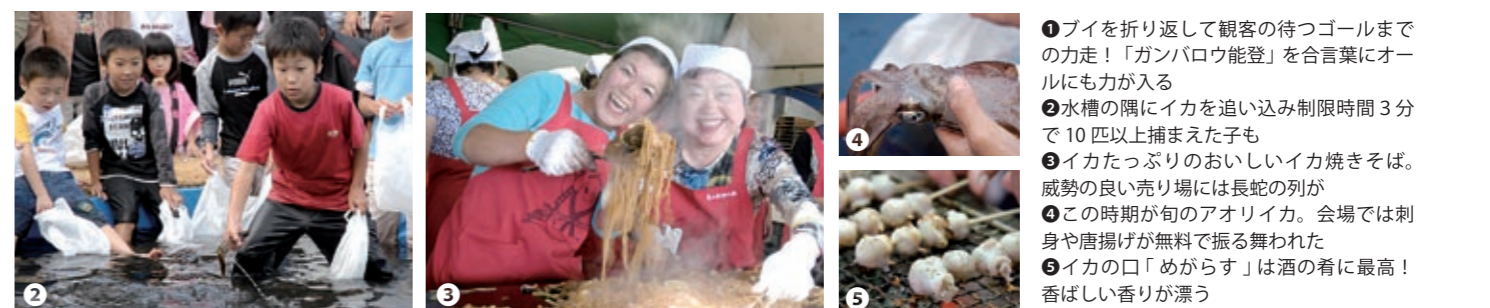
能登町産業フェスティバル「イカす会」が10月7日に県漁業協同組合小木支所で開催され、会場には地元町内会などによる21のテナントがずらりと並びました。訪れた観客はイカの団子汁やイカ寿司など、勢揃いしたイカづくしのメニューに舌鼓を打っていました。

見て触って楽しんで

小木小学校の鼓笛隊パレードで幕を開けたイベントは、小木

中学校吹奏楽部の演奏、小木保育園のイカみこし、YAMABIKO柳屋乱舞隊のよさこい、能登町太鼓連響の太鼓の披露と続きました。お昼の「イカのつかみ取り」では、たくさんの子どもたちが600匹のイカが泳ぐ水槽に入り、スミで真っ黒になりながら格闘していました。

メインイベントのイカダレースには趣向を凝らした力作12隻が出場、白熱したレースを展開しました。イカす会の最後は恒例のカラオケ大会で盛り上がり、イカの町ならではの威勢の良い歓声や笑い声が会場に響いていました。



- 1 餅を折り返して観客の待つゴールまでの力走！「ガンバロウ能登」を合言葉にオールにも力が入る
- 2 水槽の隅にイカを追い込み制限時間3分で10匹以上捕まえた子も
- 3 イカたっぷりのおいしいイカ焼きそば。威勢の良い売り場には長蛇の列が
- 4 この時期が旬のアオリイカ。会場では刺身や唐揚げが無料で振る舞われた
- 5 イカの口「めがらす」は酒の肴に最高！香ばしい香りが漂う

3

手ごわい 能登の風を読み 天まであがれ 自慢の凧

第3回 全国凧あげ 能登大会



◀ふれあい凧あげの部では、毎年町内のさまざまなグループが大凧を制作して参加する。風を待ちながら何度も何度も挑戦していた

全国の凧仲間が集う

柳田大会を引き継ぎ、今年で3回目を迎えた「全国凧あげ能登大会」が10月14日に柳田植物公園で開催されました。大会は「親子児童の部」「全国有名凧の部」「能登ふれあい凧あげの部」の3部門が行われ、全国各地と地元能登町の凧愛好家約200人がエントリーしました。

会場では凧の販売や凧が当たるとくじ引きも行われました。親子児童の部では、凧を購入した親子連れが当日参加するなど、芝生広場を子どもたちが元気いっぱい走り回っていました。

手ごわい能登の風

午前中吹いていた風は時間とともに弱まり「能登の風は手ごわい」というジンクスは今年も健在でした。それでも全国有名凧の部では一風変わった凧や巨大な凧など、さまざまな凧が秋空を彩りました。

地元能登町の凧愛好家が集うふれあい凧あげの部では、自慢の大凧が集合。弱まった風に苦戦しながらもチームワークで綱を引き、見事に凧を揚げました。



- 1 即売された凧で凧揚げに挑戦する子ども
- 2 ムカデ凧や六角凧などが集まった全国有名凧
- 3 バランスの悪い凧を名人に調整してもらう
- 4 地震が二度と来ないようにと願いを込めて小関章さん(85歳・江戸川凧の仲間)によって制作されたナマス凧

